

日本加速器学会誌「加速器」第3巻総目次

(巻頭言)		(通巻頁数)
第1号	1. 変化する日本社会における加速器開発 小寺正俊	1
第2号	2. 際限なき進展 北垣敏男	101
第3号	3. 加速器を支えるビーム利用技術 富增多喜夫	233
第4号	4. 加速器の諸側面 福本貞義	343
(特集 (日本の加速器の歴史))		
第1号	1. 日本の陽子線治療のはじまり 福本貞義	3
(解説)		
第1号	1. 重イオン・シンクロトロン of 加速器技術と物理・その1 —電源と電気回路としての電磁石負荷：コモン・モード・ノイズとの格闘— 佐藤健次	10
	2. コヒーレント輻射 吾郷智紀	24
第2号	3. 重イオン・シンクロトロン of 加速器技術と物理・その2 —HIMAC 電磁石の設計と製作：ヒステリシス特性との格闘— 佐藤健次	102
	4. 電子ビーム加速器に於ける2つの異なる周波数の新しい同期化方法 川島祥孝	121
	5. 低速中性子光学 清水裕彦	128
第3号	6. 重イオン・シンクロトロン of 加速器技術と物理・その3 —電磁石の設計と製作のための新たな提案：ヒステリシス特性との格闘— 佐藤健次	234
	7. 加速器の要求に堪えるレーザー光源を目指して —フォトカソード RF 電子銃用レーザー光源開発— 富澤宏光	251
	8. 個別バンチフィールドバックシステム 飛山真理	263
第4号	9. SPring-8 蓄積リングにおけるビーム位置モニタ信号処理回路の更新 佐々木茂樹, 藤田貴弘	344
	10. 結晶による粒子ビームの操作 飯沼昌隆, 澤田真也, ストロコフ セルゲイ, 高橋 徹	354
	11. 加速器における電磁石アライメント 菅原龍平	364

(専門論文)

- 第1号 1. 加速器におけるプラズマ型不安定性—電子雲とイオン— 31
大見和史

(講座)

- 第2号 1. 超精密加工と高性能加速管への応用(4)137
小泉 晋

(話題)

- 第1号 1. ビームロスを巡って—加速器の立場と放射線安全の立場— 44
平山英夫
2. 日本の研究生活 46
マレシャル ザビエル
3. 光利用研究に重点を置いた東京理科大学赤外自由電子レーザー 51
今井貴之, 小城吉寛
- 第2号 4. J-PARCにおける電子雲と e-p 不安定性144
外山 毅, 大見和史
5. 佐賀シンクロトロン光源の建設と立ち上げ151
冨増多喜夫, 江田 茂, 岩崎能尊, 高林雄一, 吉田勝英, 大垣英明
6. KEK-PS 初期の主リングビーム加速運転時の思い出
—主リング電磁石グループ若手の苦闘—159
高崎榮一
7. 高速ビームモード切り替えのための KEK 入射器アップグレード171
佐藤正則, IUC
8. 企業における加速器研究—FFAG 加速器の技術開発—178
石 禎浩
9. CERN 長期滞在における研究活動報告183
安積隆夫
- 第3号 10. 加速器と土木273
吉岡正和
11. X線 FEL 試験加速器レーザー増幅実験成功を支えた人間と技術284
新竹 積, XFEL 合同推進本部を代表して
12. 高輝度ファクトリー加速器の現状と展望296
赤井和憲
- 第4号 13. 加速器が感じる大地の動き376
末武聖明
14. 加速器で捉えた波浪起源の表面波など—電子ビームの振動を追って—379
松井佐久夫
15. 台北帝国大学と京都大学における初期の加速器開発と原子核物理学研究 (前編)384
竹腰秀邦
16. 加速器関連開発と精密工学
—12 GeV 陽子シンクロトロン建設時からの技術革新を応用した「もの作り」—391
東 保男
17. THE AUSTRALIAN SYNCHROTRON PROJECT400
G. LeBlanc
18. xPAC3年周期化問題と APAC10 について403
黒川真一

(話題 (小型加速器))

- 第2号 1. アルミパイプ4本で大型タンデムを小型タンデムに変える192
相良建至

(後継者育成)

- 第1号 1. 研究機関での後継者育成について思うこと 57
春日俊夫
第3号 2. 兵庫県立大学ビーム物理講座の場合306
庄司善彦

(歴史シリーズ)

- 第1号 1. 理研の加速器 —1910年代から現在まで—(その3) 60
上坪弘道

(加速器と社会)

- 第1号 1. 理研仁科加速器研究センターにおける重イオン加速器を用いた植物育種の実用化 69
阿部知子, 林 依子, 市田裕之, 龍頭啓充
2. 加速器駆動核変換用加速器への要求と開発の現状 74
水本元治
第2号 3. 核融合材料照射施設用加速器開発の課題196
杉本昌義
4. 兵庫県粒子線がん治療装置 PATRO202
板野明史
5. 大学の加速器207
上坂 充

(国際協力)

- 第1号 1. トムスク工大(ロシア)との共同研究 93
遠藤一太
第4号 2. EPICSを巡る国際共同研究409
山本 昇

(会議報告)

- 第3号 1. 第3回加速器学会年会・第31回リニアック技術研究会の開催報告312
浜 広幸
2. EPAC '06 会議報告317
阪井寛志
3. 応用加速器・関連技術研究シンポジウム ARTA2006 報告320
服部俊幸・林崎規託
4. HB2006 ワークショップ(2006年大電力, 大輝度ハドロンビームに関する
第39回 ICFA 応用ビーム力学ワークショップ)の報告323
陳 栄浩
第4号 5. ワークショップ SAD2006 開催報告413
鎌田 進
6. バンクーバーからバレンシアへ, ILC 最適化の最前線417
栗木雅夫

(談話室)

第2号	1. 九州シンクロtron光研究センターの開所式並びに利用開始記念講演会の報告 ……212 森 満, 鎌田雅夫
	2. 日本の研究活動と暮らしについて思うこと ……216 ルーカス・シュティンゲリン
第3号	3. 立命館大学SRセンター10周年記念シンポジウムの報告 ……326 山本安一
	4. 広島大学放射光科学研究センター設立十周年記念式典の報告 ……328 堀 利匡
第4号	5. 加速器学会のいまとこれから ……419 井上 信

(賛助会員のページ)

第2号	1. 東芝の加速器事業への取り組み ……219 中山光一, 佐藤潔和
第3号	2. 加速器運転への取組みと今後の方向性 ……331 佐藤好美
第4号	3. スプリングエイトサービス㈱による大型放射光施設の運転維持管理 ……425 江浦 隆, 牛建善博, 徳永尚三